

(2) 差別死亡率の觀察

イ 體性別、年齢別死亡率

ロ 職業別死亡率

ハ 所得階級別死亡率

ニ 教育程度別死亡率

ホ 地域別死亡率

ヘ 其他

(二) 死亡の原因及疾病に關する研究

(1) 死因及疾病に關する一般的研究

(2) 乳幼児の死因に關する研究

イ 先天性弱質

ロ 消化器疾患

ハ 呼吸器疾患

ニ 其他

(3) 乳幼児の健康に關する研究

(4) 結核

(5) 其他

一 政策に關する研究

(一) 乳幼児死亡率の低下政策

(二) 結核死亡率の低下政策

(三) 國民の榮養増進政策

(四) 體力向上政策

第四 社會的環境と人口の質に關する研究

一、兩親の質と兒童の質

二、兩親の所得別、職業別、教育程度別兒童の質

三、家族數(同胞數)別兒童の質

四、地域別人口の質

五、私生兒の質

第五 人口收容力に關する研究

(産業構造の變化と人口増加との關係に關する研究)

一、内地

農業、工業、商業等

二、朝鮮、臺灣及南洋

三、大陸及其他

第六 近住民族及在外邦人の人口現象に關する研究

第七 外國人口現象及人口政策の調査

一、人口現象の調査

二、人口問題の研究及學說紹介

三、人口政策の調査研究及紹介

以上の諸研究を達成する爲既存の關係諸機關と緊密なる聯絡を圖ると共に諸種の實地調査をも行ふ。

近く標本的出産力調査を行ふ豫定。

近く標本的出産力調査を行ふ豫定。

出産力調査の施行 (昭和十五年一月二十日)

本研究所に於ては前項の調査研究に關する基本資料の一として、昭和十五年一月二十日午前零時現在に於て、官吏、銀行會社員等の俸給生活者、工場、鑛山、交通賃銀労働者、農村在住者、中小商工業主及カード階級等全國約十萬組の夫婦に調査票を配付し、出産力調査を行つた。其の要綱は以下の如くである。

出産力調査要綱

一、目的

本邦出生率低下現象に關する研究上所謂差別出生率に關する資料は必要不可欠なり。然るに既存の資料は極めて不十分なるを以て、新に本研究所に於ては内閣統計局との協力の下に出産力調査を實施し之が基本資料の一たらしめんとす。

二、方法

標本調査に依り、一定の職業及地域を選定し、其の有配偶者に付き「出産力調査票」の記入を依頼す。但し右調査票の配付及蒐集は關係官公署、團體、會社等に之を委嘱す。

三、期日

昭和十五年一月二十日午前零時現在

四、客體

左の種類に分ち合計約一〇〇、〇〇〇の單位を採る。

(一) 俸給生活者

イ 官吏

ロ 小學校教員

ハ 銀行會社員

(二) 賃銀労働者

イ 工場労働者

ロ 鑛山労働者

ハ 交通現業員

(三) 農村在住者

(四) 中小商工業主

(五) カード階級



昭和十五年一月二十日現在

出生力調査票

調査の目的

注意

この調査は結婚年齢、職業、教育程度及収入等の出生力と如何なる関係をもつものであるかを明らかにし、現下喫緊の人口政策の基本資料を提供せんとするものであります。

- (1) この調査は一定の職業及地域につき根本的に行ふものである。
(2) 記入事項は記載の位置をきり注意書以外の目的には転用して用ひるべきでない。
(3) 裏面の記入用を整理して記入して下さい。

五、調査項目

一、夫妻の調査事項

- (イ) 住所
(ロ) 夫の氏名
(ハ) 妻の氏名
(ニ) 夫の出生の年月日
(ホ) 妻の出生の年月日
(ヘ) 夫の初婚、再婚の別
(ト) 妻の初婚、再婚の別
(チ) 結婚年月
(リ) 出生力の数
(ヌ) 夫の職業

人口問題研究 第一卷 第一號

(ル) 妻の職業

- (ヲ) 夫の教育程度
(ワ) 妻の教育程度
(カ) 係給生活者、及賃銀労働者の収入平均月額
(ヨ) 農業者の地主、自作、自小作、及小作の別耕作反別
(レ) 中小商工業主の國稅營業收益稅納稅額
二、出生力の調査事項
(イ) 出生の順位
(ロ) 男女の別
(ハ) 出生の年月日
(ニ) 死亡又は死産の場合には其の年月

Form with multiple sections for marital status, education, income, and birth details. Includes fields for names, birth dates, education levels, and a table for children's birth and death records.

厚生省 人口問題研究所

人口問題研究所設置に關する若干の新聞論説抜萃

歓迎すべき報導、國立人口問題研究所生る

東京商科大学學長法學博士 上田貞次郎

國立人口問題研究所新設費十萬圓が來年度豫算に上つたことは歓迎すべきニュースであつて、吾々にとつては十年來の要望が實現したことになるのだが、さて感、出來ると聞けばまた心配のこともある。それは研究所へ種々雑多の問題が持込まれて、あふはちとらぬことになることだ。室と机だけ立派になつて實績が擧げないことだ。そこでこれだけは國策の基調を定めるために是非調べておかねばならぬといふ最重要の事項を取上げて、それに全力を集中しなければならぬ。愚考では我國の人口問題として最重要の事項は出生率低下の傾向と死亡率の甚だ高いことである。歐米諸國では近年出生率が極端に低下してしまつて、現在の人口を維持する望みもなくなつて來たから、何れも出生率の問題に注意を向けてゐるのであつて、現に結婚及び出生の奨励政策を實行し始めたところの伊、獨は申すまでもなく、英國でも調査だけは根本的にやり出す模様である。だから日本でも同様に子を産むことが唯一の問題であるかのやうに早呑み込める人もあるやうに思ふ。けれども事實我國では西洋にないところの大問題があるので、それは死亡率であることを十分に認識してかかることが必要である。

出生率は低下の傾向ありと雖もまだまだ心配する程